

## 今回山形短観における主な判断、事業計画の動き

(2018年9月調査)

### 1. 業況判断

9月調査では、製造業、非製造業とも悪化し、全産業では14と前回調査から5ポイント悪化した。因みに、前回調査では悪化、水準は11を予測していた。

製造業・・・電気機械、輸送用機械などが悪化したため、全体では21と前回調査から5ポイントの悪化となった。前回調査では21を予測していた。

非製造業・・・建設、卸・小売などは横ばいであったものの、運輸・郵便などが悪化したため、全体では7と前回調査から4ポイントの悪化となった。前回調査では2を予測していた。

先行き(12月予測)は、製造業、非製造業とも悪化するため、全産業では12と2ポイントの悪化を予測。

### 2. 需給・在庫・価格判断

国内での製商品・サービス需給(製造業)・・・「供給」超幅が縮小。

製商品在庫水準(製造業)・・・「過大」超幅が拡大。

販売価格(全産業)・・・「上昇」超幅が縮小。

仕入価格(全産業)・・・「上昇」超幅が拡大。

### 3. 売上・収益計画

#### (1) 売上高

2018年度(計画)は、製造業は前年度比3.5%の増収、非製造業は同▲1.0%の減収となり、全産業では同1.4%の増収計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率0.0%)では前回調査並みの計画となったものの、製造業(同▲0.8%)が下方修正されたため、全産業では▲0.4%の下方修正となった。

#### (2) 経常利益

2018年度(計画)は、製造業は前年度比▲10.3%の減益、非製造業は同▲2.1%の減益となり、全産業では同▲7.7%の減益計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率▲2.8%）、非製造業（同▲2.2%）とも下方修正されたため、全産業では▲2.6%の下方修正となった。

#### 4. 設備投資計画等

##### （1）設備投資額（含む土地投資額）

2018年度（計画）は、製造業は前年度比▲15.4%の減少、非製造業は同13.1%の増加となり、全産業では同▲5.6%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率19.4%）、非製造業（同18.1%）とも上方修正されたため、全産業では18.9%の上方修正となった。

##### （2）生産・営業用設備判断

生産・営業用設備・・・製造業では「不足」超幅が拡大したものの、非製造業が「不足」超幅を縮小させたため、全産業の「不足」超幅は▲9と前回調査比わずかに縮小。

#### 5. 雇用

雇用人員判断・・・製造業、非製造業とも「不足」超幅が拡大したため、全産業の「不足」超幅は▲36と前回調査比わずかに拡大。先行き（12月予測）の「不足」超幅は更に拡大を予測。

#### 6. 企業金融

資金繰り判断（全産業）・・・・・・・・・・ 「楽である」超幅が縮小。

金融機関の貸出態度判断（全産業）・・ 「緩い」超幅が縮小。

借入金利水準判断（全産業）・・・・・・・・ 「上昇」超に転化。

以 上